

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	淡路市立 北淡中学校 教諭 徳梅 昌行	研究グループ名 (みのり研究会)	採択番号
-----------------	------------------------	-----------------------	------

研究テーマ分類番号(16)

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ	
「信頼できる学校づくり」をめざして ～み(未来を担う)の(能力を身につけた)り(リーダーの育成)～	
(2)研究経過及び具体的な取組	
5月28日(火)	第1回定例会 ・実施場所 淡路市立北淡中学校 ・参加人数 14人 ・内 容 講義「平成25年度指導の重点と淡路市の課題」 年間研修計画の検討 ・成果と課題 県の方針から市の施策まで幅広くお話いただき、25年度の進むべき道筋が見えた。また、1年間の研修計画を話し合うことで、どんなことを研修したいかが明確になった。今年度は、各定例会の担当を決め、企画や運営にあたることにした。
6月11日(火)	第2回定例会 ・実施場所 淡路市立北淡中学校 ・参加人数 14人 ・内 容 講話「学校トラブルの対処法 ～大丈夫が一番危ない」 ・成果と課題 学校トラブルに関する話を聞き、苦情の中にこそ、学校にとって有益なことが点在しているとの話が印象的であった。マイナスをプラスに変える意識変革が今後望まれる。
10月1日(火)	第3回定例会 ・実施場所 淡路市立北淡中学校 ・参加人数 17人 ・内 容 講話「iPadの授業活用について」 ・成果と課題 iPadの基礎的な操作から特徴まで網羅して教えてくださり、また有効な授業活用の実例も示してくださったが、授業者の力量をさらに向上させる必要があると感じた。

11月5日(火)

第4回定例会

- ・実施場所 淡路市立北淡中学校
- ・参加人数 11人
- ・内 容 講話「これからの進路指導」
- ・成果と課題 進路指導には、高校進学や就職といった狭い進路指導と生き方や人生の選択といった広い進路指導があり、年齢や発達段階に応じた指導が必要になることが参加者の中で確認できた。話の中心は、やはり高校の学区再編や入試制度に集中した。学区拡大に伴う高校の情報をどのように入手し、伝達するかが課題になると思われる。

12月2日(月)

第5回定例会

- ・実施場所 淡路市立北淡中学校
- ・参加人数 14人
- ・内 容 講話「知っておきたい学校の法令・規則」
グループ演習
- ・成果と課題 まず、学校に関する法令や規則を学習し、その後グループに分かれ、記録簿の記入と勤務時間の割振変更、職専免申請書の作成、休暇制度の適用などについて演習を行い、他グループに発表し、協議を行った。どのように処理すればいいかを参加者全員で考え、共有できた。今回得た法令や規則に関する知識を現場の中でどう活用できるかが鍵になる。